

## がんばったなわとび大会！！

1月30日のなわとび大会は、もも組さん・ばら組さん・すみれ組さんは、縄ジャンプやへびとび、波とび等でしたが、さくら組さんは、前跳びでどれだけ長く跳べるかを競い合いました。みんながんばっていました。たのしんでいました。



### わるい鬼を たいじしました！



2月3日は節分で豆まきを行いました。今年は園庭で行いました。お面と豆を入れる袋をつくり、鬼に向かって豆を投げました。みんなで頑張ってお悪い鬼を退治しました！

### もうすぐひなまつり！



3月3日はひなまつりです。お子様の健やかな成長と幸せを願います。

## 視て、聴いていただけた ドリームコンサート！！

3年ぶりでした。ドリームコンサートを見て頂けたのは。聴いて頂けたのは。よかったです。子どもたちにとっても、ご家族にとっても。私たちにとっても。やはり、生の演奏を視聴していただけたことが、何よりです。喜びです。

いかがだったでしょうか、子どもたちの演奏は。あのサウンド、病みつきになりませんか。あの独特の演奏、忘れられませんね。子どもたちは、ドリームコンサートを経て、また一つ大きく成長を遂げました。





## さくらぐみのみなさん、ごそつえん おめでとう！！

さくらぐみのみなさん、いかがでしたか、なみきようちえんですごしたひびは。うんどうかい、なつまつり、おとまりほいく、せいかつはっぴょうかい、だいこんほり、カルタたいかい、なわとびたいかい、どリーむコンサートなどのぎょうじはたのしかったですか。おもいでになりましたか。

ごそつえんにあたり、思い出した詩があったので、記します。

今から40年以上前に出版されたシンガーソングライターの小椋佳さんの詩集にありました。今は手元になく、絶版のようです。うろ覚えです。でも、今になって、思い出されるくらいですので、私にとっては、とても印象的な詩でした。

たしか、

“「学校には、勉強しに行つて来ます」と言ったあとで、  
なんだか、うそをついたような気がした”  
というような詩だったと思います。

大人の小椋佳さんが、小学生に戻つて書いた詩です。この詩の中の「勉強」は、「国語、算数などの教科の勉強」のことを言っています。勉強というと、教科の勉強のことを、そのことだけを言うと思っていたのでした。でも、学校ではいろいろなことを体験します。学びます。「勉強」が、「教科の勉強だけでないこと」に気づき始めた詩だと思ひます。

そうです。学校では、教科以外にも様々なことを学びます。勉強します。

「勉強する」という言葉は、「学ぶ」と同じような意味でつかわれます。「一生勉強」は、「一生、学び続ける」という意味です。

私が、中学生の頃に思つたことを思い出しました。

体育の本当の5（通知票で最高の評価）って、長生きした人？ 長生きする人？ 健康で長生きする人？ けがをしない人？

最近、思ふことがあります。

国語の本当の5って、思いやりのある言葉を言える人？ 優しい言葉かけをできる人？

今、ちょっと、思つたことがあります。

算数の本当の5って、赤字を出さない人？ 借金をしない人？ つつましい生活ができる人？

脇道にそれてしまったので、まとめます。

## 健康で、元気に、友達と

## 小学校生活をいっぱい楽しんでください！！